

(3) 本文が否定文の場合は、助動詞 (be 動詞) の肯定形を用います。

Tom isn't your teacher, is he? (トムはあなたの先生ではないですね。)  
肯定形  
代名詞

You didn't study English, did you? (あなたは英語を勉強しませんでしたね。)  
肯定形  
代名詞

Emi can't speak English, can she? (絵美は英語が話せませんね。)

These aren't Tom's pens, are they? (これらはトムのペンではないですね。)

Kumi doesn't play tennis, does she? (久美はテニスをしませんね。)

(4) 本文が命令文の時はコンマ(,)の後は will you となります。

本文が Let's で始まる文の時はコンマ(,)の後は shall we となります。

Study English hard, will you? (英語を一生懸命勉強しなさいね。)

Let's play baseball, shall we? (野球をしましょうね。)

(5) 付加疑問文の答え方 ... Yes, No を用いてふつうの疑問文と同じように答えます。

Ken can speak English, can't he? (健は英語を話すことができますね。)

Yes, he can. (はい、できます。)

No, he can't. (いいえ、できません。)

Emi doesn't play tennis, does she? (絵美はテニスをしませんね。)

Yes, she does. (いいえ、します。)

No, she doesn't. (はい、しません。)

\* 本文が否定文の時の答え方に注意しましょう。英語の Yes, No が日本語では「いいえ」、「はい」と逆になっています。否定疑問文のところでも学んだように動詞の部分 play (tennis) 「(テニス)をする」に対して、するのであれば Yes, she does. しないのであれば No, she doesn't. と答えます。